



再開2年目の本庁にも村民の姿が。職員から浄水器を受け取る佐藤隆芳さん（前田・八和木）写真右

**村内の復興事業が本格化**  
 現在検討が行われている「いたてまでいな復興計画第5版（案）」では、避難指示解除後の村づくりのテーマとして、「ネットワーク型の新しいむらづくり」を掲げ、各分野の復興事業計画については、具体化とさらなる展開を図っていくこととなります。  
 これまでも、復興計画の理念に基づき、村の内外でさまざまな事業が行われてきましたが、除染の進捗に伴い、今年度はいよいよ村内におけるインフラ整備・復興事業などが本格化します。

復興計画案が掲げる

「ネットワーク型の新しいむらづくり」とは

意向調査の結果などから、避難指示解除後の村民の帰村はゆるやかに進み、当面、村の内外に分かれて暮らす家族も少なくないと予想されています。「ネットワーク型の新しいむらづくり」とは、戻る人と村外で生活する人とが助け合い、さらに、応援・支援をしてくれる外部の人ともつながりを持って、それらを新たな強みとして村づくりを進めていこうという考え方です。

特集

歩み始める  
新しい村づくり

特集 「歩み始める 新しい村づくり」 P3

復興を歩む vol.1 P8

職員紹介 ～村の新しい顔～ P10

村から課から係から

教育のページ  
着任教職員の紹介ほか P12

考えてみっぺ、村の学校  
新年度の教育施策について  
教育コラム P14

報告のページ  
までいな除染会議の提言書ほか P15

入札結果 P16

HOPES ホープス  
つくってたべよう  
こころのほけっと P17

いいたて便り  
見守り隊出動式ほか P18

つながるアルバム P20

皆さんの声をお聞かせください P22

いいたて歳時記  
ひとのうごき  
編集後記 P23

仲間とともに  
インディアカサークル P24

5月号の目次



震災前の村景色から 比曾のミズバショウ